

社協だより

編集と発行／社会福祉法人 田子町社会福祉協議会

電話 32-4045 FAX 32-4085 メールアドレス syakyou@bz01.plala.or.jp

- すくすく倶楽部防災教室 …………… 1
- 苦情解決の流れ …………… 2
- いきいき通信 …………… 3
- 各種案内 …………… 4



親子で学ぼう！防災教室実施

9月4日、大黒森229ドームにて、学童保育保護者会「すくすく倶楽部」による親子防災教室が行われました。当日は防災週間でもあったことから、親子で防災・減災に対する関心を持ってもらおうと、NPO法人青森県防災士会八戸支部のご協力のもと、14組41名の親子が防災クイズや身近なものをを使った応急手当等を体験しました。

空き缶を使ってご飯を炊く実技では、普段は炊飯器で炊いたご飯しか見たことがない子どもたちから「本当にできるの？」と疑問の声があがっていましたが、実際に炊き上がったご飯を食べてみると、あっという間に完食し「もっと食べたい」と話していました。

このほかにも、レジ袋を使って三角巾を作ったり、ごみ袋で雨合羽を作ってみたりもしました。防災教室を実施するにあたり、参加した親子には事前に道具を準備してもらうことで、日頃の防災対策の意識付けにもなったようで、いざという時に親子同士で互いに助け合えるような体験となりました。



ご飯炊けるかな

この社協だよりは社協会費と共同募金配分金により発行しています。

ご意見・ご要望を受付しております

田子町社会福祉協議会では、皆様から寄せられたご意見・ご要望に真剣にお応えします。

サービス利用者・ご家族

～ご意見・ご要望～
せせらぎの郷正面に要望ボックスがございます。



直接言いにくい場合は、第三者委員に申し出ることもできます。

第三者委員

森	榮子	(西館野)	32-3708
一ノ渡	尚武	(北側)	32-2011
月館	勝男	(遠瀬)	33-1967
川上	幸子	(七日市)	32-2223
中村	見俊	(道前)	33-1443

苦情受付担当者

田子町社会福祉協議会 32-4045

～苦情の報告・確認～
受け付けた内容を責任者と第三者委員に報告します。

平成27年度の苦情・要望件数

サービスの質や量	3件
職員の接遇	1件
その他	4件

苦情解決責任者

中村康孝(下本町) 32-3052

～解決に向けた話し合い～
申し出人と話し合いを行います。

8件の貴重なご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。その他、軽微なものについては日々対応し、全て解決しております。

社協で実施している事業について、皆様方のご意見を真摯に受け止め、さらなるサービスの質の向上を目指してまいります。

くらしにあんしんを！あっぷるハートのご案内

あっぷるハート（日常生活自立支援事業）は、認知症などにより判断能力が十分でない方のお手伝いをします！

Q1 どういう人がつかえるの？

高齢や障害などによって、自分1人で意思決定し、実行に移すことが難しい状況にあり日常生活に不安のある方（事業の契約内容について判断でき、利用を希望する方に限ります。）

Q2 どんなことをしてくれるの？

- ・福祉サービス利用における申込み等の契約の同行・代行
- ・福祉サービスの利用に伴う預貯金の出し入れ等、利用者の日常的金銭管理の支援
- ・安全な場所での大切な通帳やはんこなどのお預かり など

Q3 だれが手伝ってくれるの？

専門員が本人の意向を確認しながら支援計画を作り、各市町村に配置されている生活支援員がその計画に沿ってお手伝いします。

Q4 お金はかかるの？

福祉サービスの利用援助や必要な日常的金銭管理サービスに伴う利用料…… 1回1,500円
※相談、支援計画の作成は無料です。生活保護受給者の負担はありません

～事例～

利用者 60代女性（独居 障害年金受給者）

精神的に不安定で、金銭管理が難しくなってきたことからあっぷるハートの利用となりました。支援計画のもと、生活支援員が月に1回利用者宅を訪問し、本人の代わりに金融機関でお金をおろし本人に渡しています。

詳しくは田子町社会福祉協議会までお問い合わせください。 ☎ 32-4045

お年寄りになるとどうなるの？



本も近くじゃないと読みにくい…

6月23日、上郷小学校の3・4年生を対象に高齢者疑似体験授業を行いました。始めに社会福祉協議会の職員が年をとるに伴って起こる心身の変化について説明をし、それを踏まえたうえで疑似体験を行いました。

疑似体験では階段の上り下りや、箸を使って物をつかむなど、日頃何気なく行っている動作がどのように感じるか体験してみました。児童たちは「ゆっくりじゃないと動けない」、「おじいちゃん、おばあちゃんの大変さが分かった」と話していました。

おめでとうございます！



代表して表彰を受ける腰巡氏

7月8日、南部町総合保健福祉センターゆとりあで開催された第66回三戸郡社会福祉大会において、三戸郡社会福祉協議会会長より、以下の方々が功績を称えられ表彰されました。(敬称略)

【社会福祉団体・社会福祉施設及び社会福祉協議会役職員】

滝田 守	赤坂 隆司	菊地 幸子
藤村 京子	中山さなえ子	腰巡 文子

【社会福祉事業協助者】

工 藤 傳 次

目指すは保育士



おねえさんの取りあい！

8月3日から5日の3日間にわたり、田子保育園のご協力のもと、田子高校生による保育ボランティア活動を行いました。思いやりのこころを育て、保育についての理解を深めることを目的として毎年実施している本活動ですが、今年は5名の生徒が参加し、子どもたちとふれあいながら業務体験をしました。

連日続く暑さの中、生徒たちはおんぶやだっこをせがみ駆け寄ってくる子どもたちと一緒に汗だくになりながら、将来目標とする保育士像を思い描いていたようでした。

活気あふれる運動会



新種目のブタ追いレース

9月1日、農業者トレーニングセンターにて田子町シニアスポーツ大会及びグラウンドゴルフ交流会が行われました。老人クラブの会員や会食交流事業「寄りあいっこ」の登録者など約40名が参加し、赤組と青組に分かれ熱戦を繰り広げました。今年から2つの新種目が追加され、参加者は例年と少し変わった競技に戸惑いながらも、新鮮な気分で楽しくプレーしていました。

また、午後には全員でグラウンドゴルフを行い、多くの方がホールインワンを決めるなど大盛況のうちに終わりました。

赤い羽根共同募金運動にご協力お願いします！

～共同募金運動は今年、70回目の運動を迎えます～

今年も10月1日から赤い羽根共同募金が始まります。10月に入ってから福祉協力員（募金ボランティア）の方が募金のお願いに伺いますので、ご協力をお願いいたします。

共同募金は寄付金が集まってから使い道を決める募金ではなく、あらかじめ使い道の計画を立てて行う計画募金です。今年集まった募金では以下の事業を計画しています。（平成29年度実施予定）

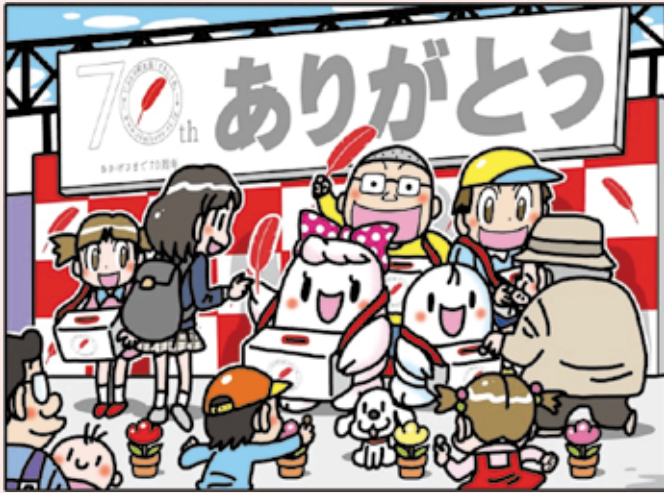
28年度目標額 1,230,000円

- ・社協だよりの発行
- ・福祉協力校（町内の小中高）への助成
- ・社会福祉大会の開催
- ・弁護士による専門相談の実施



..... まちがいさがし

2つの絵には違う所が7つあるよ。全部わかるかな？



<正解はこのページの一番下にあります。>

募金の詳しい使いみちについては「赤い羽根データベース はねっと」をご覧ください。
<http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>

熊本地震義援金募集のお知らせ

田子町共同募金委員会（田子町社協）にて
 お預かりした義援金（8月31日現在） **64,292円**

4月14日の熊本地震によって被災された皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

田子町共募で受け付けた義援金は青森県共同募金会へ送金されたのち、全額被災県共同募金会に送金されます。引き続き、平成29年3月31日まで義援金を受け付けておりますので、ご協力よろしくをお願いいたします。

赤い羽根共同募金運動の推進に協力する皆様へ
 赤い羽根共同募金運動の推進に協力する皆様へ
 赤い羽根共同募金運動の推進に協力する皆様へ

離職介護人材再就職準備資金のご案内

介護職へ復帰する方へ準備金（最大20万円）をお貸しします！

貸付決定日から1年以内に県内で介護業務に再就職し、2年間働いた場合、返還が全額免除されます。介護施設で介護職員として1年以上経験があるなど、一定の要件を満たす方が貸付対象となります。

長い間、介護の仕事から離れていたため自信がない、復帰にお金がかかると思っている方、ぜひ離職介護人材再就職準備資金をご活用ください。

<お問合せ先>
 青森県社会福祉協議会 生活支援課 ☎017-723-1469
 詳しくは県社協ホームページをご覧ください。
<http://aosyakyo.or.jp/>